

令和3年度第1回 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設  
のぞみの園運営懇談会議事要旨

令和3年10月25日(月)  
13:30~15:00  
文化センター

- I 開会
- II 理事長挨拶
- III 議事
  - 1 入所利用者の状況について
  - 2 独立行政法人の評価について
  - 3 のぞみの園における業務の取組状況について
    - (1) 高齢の入所利用者に対する支援
    - (2) 著しい行動障害を有する者への支援
    - (3) 矯正施設を退所した知的障害者への支援
    - (4) 附帯業務の見直し
    - (5) 業務運営の効率化
- IV 報告事項等
  - 4 令和3年度 調査・研究テーマについて
  - 5 国立施設との連携について
  - 6 令和3年度 セミナー・研修会の実績・予定について
  - 7 コロナウイルス感染症への対応について
  - 8 事故等の報告について
- V 閉会

【議事に対する主な質疑（○：委員、●：のぞみの園）】

- ：のぞみの園として、独法評価のB評価はどのように考えていますか。
- ：コロナの影響で目標に達成できなかった部分もありますが、コロナ渦でも工夫して取り組んだことが評価されたと思っています。
- ：調査研究のA評価は、研究成果が全国の施設で役に立っているという評価ですか。
- ：国の施策に連動した研究内容等が評価されたものと考えています。
- ：ターミナルケアのニーズがあるようですが、これは家族や本人のご要望を汲んできたものなのですか。

- : ご本人の意向に沿ったケースとしまして、診療所に入院してから「みんなの声が聞きたい、寮に戻りたい」と訴えた方がおり、利用者さんが寮で過ごしたいという意向ならば、寮で支えていきたいと思います。
- : ターミナルケア、看取りについては、どこの施設でも高齢化の問題があると思います。
- : 法人内でターミナルケアの検討や研究を行い、マニュアル作成や情報発信していく予定です。
- : ターミナルケアについては、親の思いとしては、最後は親元で迎えたいという気持ちはあるが現実的には難しい。その代わりに施設の方でこのような方向性で取り組んでもらうことは、大変ありがたい。
- : 強度行動障害を有する者の受け入れを今年度から 20 名とする予定ですが、体制等の準備できているのですか。
- : 寮の改修工事があり、見通しは厳しい状況ですが、可能な限り受け入れできればと思います。
- : 強度行動障害の先進団体とは。
- : 強度行動障害者の支援は歴史的に古いわけではないですが、国内では老舗と言われ、技術や職員の意識、事業内容等、日本中からお手本とされている 4 法人を指しています。
- : 今まで横の繋がりがなかったので、強度行動障害者支援の全国ネットワークを作るということですか。
- : 基本的に強度行動障害の情報を全国的に共有する仕組みがなかったので、地域の先進団体と連携し全国に強度行動障害者をきちんと支えられる仕組みを作ろうということで、国にも入っていただきながら仕組み作りを始めたところです。
- : 有期限の方は期限が来ても目標にまで達しなかったり、やはり難しかったねという場合、最終的にはどのようになるのですか。
- : 医療的に有効な治療が見つからない、地域に最適な事業所が見つからないなどありますが、最終的にそのような方も関係する自治体や事業所と調整して移行できるように努力しています。
- : 強度行動障害の寮に入ってくる方の年齢層はどのようになりますか。
- : 若い方が中心で、40 代 50 代という方は少ないです。

- ：児童発達支援を拡張していくのは、それだけニーズがあるのですか。
- ：児童発達支援は就学前の児童を対象に定員 20 人で実施しておりますが、ニーズが多いため、次年度は定員 30 人で行う予定です。
  
- ：あかしあ寮の夜勤業務は何時から何時までですか。
- ：15 時から翌日の 6 時までです。
  
- ：誤与薬となるケースは。
- ：服薬を支援する側の飲ませ忘れや人間違いによるものです。
  
- ：事故について転倒とは別に、原因不明とありますが、職員が現認したか否かという判断ですか。
- ：転倒と現認できれば転倒、現認できない事故の場合は、原因不明という整理になります。
  
- ：少年院との連携が進んでいるのですか。
- ：現在は、コロナの関係でオンラインを活用してお互いの手法を学んでいます。3 年前は、矯正施設へ現任研修として 8 名の職員を派遣しました。